

**滝浦 真人 (TAKIURA MASATO)**  
(放送大学 教授)

講演内容

滝浦真人(2008)『ポライトネス入門』研究社  
滝浦真人(2013)『日本語は親しさを伝えられるか』岩波書店 の著者です。

# 日本語は親しさを伝えられるか

## Part 1 (14:30 - 15:30) 語用論の展開と研究の焦点：ポライトネス研究のこれから

過去半世紀にわたる語用論の展開は、そのまま研究対象の変遷を意味している。そしてそれはまさに、“何が語用論か？”という関心の移り変わりにほかならない。言語行為論から、ポライトネス論、関連性理論、会話分析という流れのなかで、研究の焦点をあらためて整理し、これからの研究のあり方を考えたい。

## Part 2 (16:00 - 17:00) 日本語の近代とコミュニケーション：日本語はどちらに向かっているか？

わたしたちが普通だと思っている標準語の所作はずいぶんと丁寧で堅苦しくはないだろうか。「敬して避ける」ための敬語はあっても、「親しく交わる」ための言葉は育んでこなかった。「作法」に寄りかかってきた日本語のここ百年をたどり、成熟した「親しさのコミュニケーション」への変化のきざしを見いだす。

日程：2013年7月20日（土曜日）午2時30分～午後5時00分（2時間の講演と30分の休憩）

場所：名古屋大学全学教育棟・北棟405号室 <参加自由・無料>

コンタクト： 名古屋大学 玉岡賀津雄 [ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp](mailto:ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp)